

平成25年度

# 大河原管内協働教育研修会

平成25年12月5日（木）に大河原合同庁舎大会議室（4階）において平成25年度大河原管内協働教育研修会が開催されました。管内の教職員，PTA関係者，行政職員，ボランティア，協働教育に関わる地域の方々128名が参加し，家庭・地域・学校がお互いに手を取り合いながら協働することについて，柴田町協働教育の「しばたっ子応援団」をモデルに研修しました。

## 研修の様子

### 全体会

#### ○実践発表 柴田町の協働教育「しばたっ子応援団」の取り組みについて

講師 柴田町教育委員会 派遣社会教育主事 後藤 忠宏 氏



今回の研修では，3年間柴田町の協働教育に携わられている柴田町派遣社会教育主事の後藤忠宏先生を講師にお招きしました。

講演では協働教育事業の3つの柱についてお話ししていただきました。

- (1)家庭教育支援事業
- (2)地域活動支援事業
- (3)学校教育支援事業

柴田町がどのように組織を形成し，どのような過程を経て協働教育を展開しているのかについて話題提供をしていただきました。

#### (実践発表の概要) ※講話資料より

##### (1) 家庭教育支援事業

事業実施の中心となる組織 … 子育て支援ネットワーク協議会

- ①親の学び塾開設(子育て親育ち講座・イクメン講座)
- ②「おやじの会」の設立・活動支援
- ③「子育て支援ネットワーク協議会」における各機関との連携・情報交換の強化
- ④家庭教育に関する講演会の実施

##### (2) 地域活動支援事業

- ①第3回柴田町「子どもフェスティバル」
- ②合宿通学の実施
- ③ジュニアリーダー育成
- ④自然体験活動，親子交流活動，奉仕体験活動，世代間交流，地域産業体験活動等の実施



### (3) 学校教育支援事業

- ①「しばたっ子応援団」(学校支援ボランティア)の派遣
- ②キャリア教育支援の充実
- ③学社連携推進委員会の充実

#### ○パネルディスカッション

|                 |                 |          |          |
|-----------------|-----------------|----------|----------|
| <b>パネリスト</b>    | 柴田町教育委員会        | 派遣社会教育主事 | 後藤 忠宏 氏  |
|                 | 柴田町立槻木小学校       | 主 幹 教 諭  | 嶋中 直幸 氏  |
|                 | しばたっ子応援団        | 砂金社中代表   | 砂金 美代子 氏 |
|                 | (柴田町学校支援ボランティア) |          |          |
|                 | 宮城県教育庁生涯学習課     | 主 幹      | 松崎 和佳子 氏 |
|                 | (家庭教育支援)        |          |          |
| <b>コーディネーター</b> | 大河原教育事務所        | 主 幹      | 小林 正道    |



#### 柴田町立槻木小学校 主 幹 教 諭 嶋中 直幸氏 (談)

校内の協働教育コーディネーターとして意識していることは職員のつぶやきを拾うこと。炉辺談話として出てきたつぶやきを聞きつけ、行政担当(生涯学習課のコーディネーター)に電話で直接要望することが、早い対応の秘訣。

そして要望したことを行政担当(生涯学習課のコーディネーター)がすぐに対応してくれた事に感謝

#### しばたっ子応援団 砂金社中代表 砂金 美代子氏 (談)

教室という子どもたちの手が届きそうな場所で演奏させていただいたときの間近な拍手は、とても胸に響き感動しました。

#### 宮城県生涯学習課 主 幹 松崎 和佳子氏 (談)

県内の家庭教育支援についてお話をいただきました。

「親の学び支援」について

「家庭教育支援はどんな場面で実施されているのか？」

- ①親向け学習機会の提供
- ②電話・面接による相談事業
- ③子育てサークルや親同士の交流の促進
- ④家庭教育セミナーや保護者向けの広報資料等の作成と提供
- ⑤はやね・はやおき・あさごはん運動の地域全体での啓発運動 等々

## ○グループワーク

今回は参加者の方々に仮想の新聞社（協働教育通信）になっていただきました。

例えば…

「楽天イーグルスが日本一に輝きましたが、柴田町協働教育「しばたっ子応援団」も大成功を収めております。これから明日の新聞をみんなで作りましょう。」というミッションに挑みました。



## 課題①ヒーローインタビュー

柴田町の協働教育関係者に対してヒーローインタビューをしましょう。ヒーローにインタビューが前提ですので、なるべくポジティブな内容と見出し作りにつながる内容でお願いしました。

各グループ（学校教員，PTA関係者，ボランティア関係者，行政関係者が混じり合いながら）柴田町に対しての質問（1つだけ）を考えて質問しました。

質問はたくさんありましたが一部を紹介いたします。

○各学校からの支援ニーズ（要望）に対して、（行政側が）コーディネートをする際の苦悩（工夫）を教えてください。  
・あまり苦勞はないです。もちろん私は主担当ですが、柴田町生涯学習課職員の持つネットワークを駆使し、チーム全体としてコーディネート業務にあたっています。

○「しばたっ子応援団」として、たくさんの人材を集めることができた秘訣は？

・生涯学習関連事業等に関わっていただいている様々な方々や団体とのつながりを大切にしています。また、先ほどもお話ししましたが、生涯学習課の職員全員で町民の方々の声を聞きながら、人材発掘等に努めています。

○ボランティアに登録している人たちをどのように活かすのでしょうか？

（やりたいけど派遣されていない人たちをどのように活かすのでしょうか？）

・あくまでも「学校の支援要請に応じた活動」なので、実際のところ、登録していただいた方全員に活躍の場があるわけではありません。登録していただいた方々の熱意やお力を生涯学習課の他の事業等で活かすことや、学校へのこまめな（人材の）情報提供、町民の方々に対する継続的な広報活動を通して、この事業に対する理解をいただけるよう努めています。今後も引き続き「できるときに できる人が できることから」という意識で参加していただければありがたいです。



○感謝の気持ちを誰に伝えたいですか？

行政の立場として → 「ボランティアさん」  
学校の立場として → 「ボランティアさん」  
ボランティアの立場として → 「生徒のみなさん」

## 課題②「明日の新聞の1面の見出し」作り

課題①のヒーローインタビューをもとに明日の新聞の1面の見出しを作しましょう。

この課題に、みなさん様々な思い思いの見出しを作っていました。

○共に育ったしばたっ子応援団

○柴田町！夢・愛・感動 大成功！！

○子どものための地域の絆 できるときに できる人が できることから

○感謝・感謝・感謝！

○つながれ来年も 感動 柴田V

○つながりましょう 柴田の底力を！！

○つながる つながる みんなにっこり

○つながる 育つ 広がる フレーフレー柴田人

○熱い思いがみんなをつなぐ、しばたっ子応援団！

○熟してきたぞ協働教育，柴田町。

輝く子どもの笑顔のために！！

○負け知らず しばたっ子応援団！どんな願いや希望にもお応えいたします！

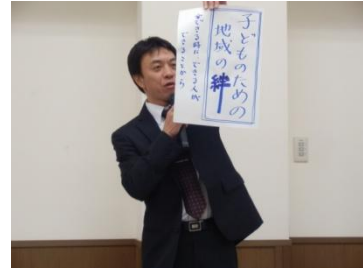
○感謝と謙虚が心をつなぐしばたっ子応援団 ～ 笑顔・ふれあいのある町 柴田町 ～

○たくさんの笑顔を咲かせ 柴田のスター引退

○MVP 後藤

○ゆずれない 満開笑顔！

○しばたっ子 はじける笑顔 みんなの輪



今回の協働教育研修会は成功している柴田町協働教育がなぜ成功しているのかを、良い点に着目しながら、実践発表・グループワークをとおしてお互いに考えてみる研修会といたしました。

家庭・地域・学校がよりよくつながることで、今までになかった教育効果がたくさんあることを再確認できる研修となりました。

今回の柴田町実践事例を参考にしながら、各市町の担当の方々からも積極的に取り組んでみたいという声がたくさん上がってきました。